

No.	資料名・ページ	質問	回答
1	実施要領 2ページ	代表者と連絡担当者は構成員の別法人で良いか	グループ応募の場合において、代表者および連絡担当者を別法人の構成員とすることは可能です。ただし、各種通知・連絡等について責任を持って対応できる体制を確保してください。
2	実施要領 3ページ	提案書の様式(ワード、パワーポイント等)の指定はあるか。	企画提案書の作成については、実施要領に記載の条件(A4判、ページ付与等)を満たす範囲であれば、使用ソフト(Word、PowerPoint等)の指定はありません。
3	企画提案仕様書 2ページ	修了試験の実施形式について、オンラインで口述試験(Zoom等での面談)を行うことは問題ないか。また、筆記試験を行う場合もオンラインで受験する形式で問題はないか。	修了試験については、受講者の到達度を適切に確認する観点から、原則として対面での実施を想定しています。なお、筆記試験等の一部については、やむを得ない場合に限り、カンニング等の不正防止や公平性の確保に十分配慮したうえで、オンライン形式による実施を妨げるものではありません。
4	企画提案仕様書 2ページ	募集について、 1.通訳案内士資格を持たない方を優先して受講を受け入れた方が良いのか、あるいは、資格の有無にかかわらず受講条件に合致すれば、どのような方でも受け入れてよいのか。 2.応募条件として、初級(高校生以上)・中級(満18歳以上)という制限を設けてよいか。	通訳案内士資格の有無による優先条件は設けておらず、本事業の趣旨および各研修段階の受講条件に合致する者を対象として想定していますが、受講対象者に関する条件設定については、本事業の目的や研修効果を踏まえた合理的な範囲で提案可能です。なお、具体的な条件設定については、契約後に市と協議のうえ決定するものとします。
5	企画提案仕様書 2ページ	各講座の合格者の立ち位置について確認したい。中級の合格者は「函館市ローカルガイド人材バンク」へ登録することとしているので、中級の合格者は函館市が公認したガイドという理解でよいか。また、初級合格者は人材バンクへの登録は想定されていないが、人材バンクに登録されていない初級合格者であっても、函館市が実施するガイド講座の合格者として、函館市が公認したガイドとして名乗ってガイド事業を行うことは可能か。	中級合格者については、「函館市ローカルガイド人材バンク」への登録対象となることを想定しておりますが、本事業における「函館市公認ガイド」といった資格・認証制度を設けるものではありません。また、初級合格者についても、本研修の修了者として活動を妨げるものではありませんが、函館市が資格等を付与するものではありません。なお、ガイド人材の位置付けや運用方法等については、今後の検討により変更となる場合があります。
6	企画提案仕様書 2ページ	上級の到達基準について、「bガイド当日においても英語で柔軟に対応できること。」との規定について、これは「当日の急な依頼(アサイン)への対応」を指すのか。それとも「実施当日の現場における臨機応変なガイディング」を指すのか。	ご質問の「ガイド当日においても英語で柔軟に対応できること」とは、主としてガイド実施当日の現場における観光客対応や状況変化等に対し、臨機応変にガイディングできる能力を想定しています。
7	企画提案仕様書 3ページ	研修について、 1.実施日は平日が良いか。または土日祝日に実施した方が良いのか。 2.開講式や修了式は、研修日の他に日を設けて実施が想定されているか。	実施曜日について、市として特定の曜日を指定するものではありません。受講者の参加しやすさや研修効果等を踏まえた提案を求めます。開講式および修了式について、実施が必須とはしていません。実施する場合の方法や日程設定を含め、効果的な運営方法を提案してください。

8	企画提案仕様書 3ページ	会場については函館市が管理する施設を使用するなど、ある程度の便宜を図っていただくことは可能か。	市有施設の利用については、施設の利用状況等を踏まえ、必要に応じて協議することは可能です。ただし、特定施設の確保や使用料免除等を保証するものではありません。
9	企画提案仕様書 3ページ	1.研修時間数はどの程度を想定されているのか。最低限の時間数設定はあるか。 2.実地研修時、市の管理する施設に無料で入場ができるなどの便宜を図っていただくことは可能か。 3.研修実施に対し、函館市がどの程度まで関与されるのか。 例えば研修受講受付や、第1回目開始時・最終日の終了時挨拶、オンライン（Zoom等）のURL設定など。	研修時間数について、現時点で最低時間数等の一律の基準は設けていません。各段階の到達目標を踏まえ、十分な研修効果が見込まれる内容を提案してください。また、市管理施設における入場等の取扱いについては、施設管理者との調整を要するため、現時点で無料利用等を保証するものではありません。本業務は受託者主体での実施を想定しており、市は必要な協議・広報等を行います。具体的な役割分担については、提案内容を踏まえ契約後に調整するものとします。
10	企画提案仕様書 3ページ	座学研修について、「必要に応じて一部オンラインでの実施も可とする」とあるが、eラーニングシステムを使用した研修とすることも可能か。	仕様書に記載のとおり、一部オンラインによる実施も可能です。そのため、研修内容や実施効果が十分に確保されるものであれば、eラーニングシステムを活用した実施方法を提案いただくことも可能です。なお、具体的な実施方法については、契約後に市と協議のうえ決定するものとします。
11	企画提案仕様書 3ページ	研修合格証の発行部数について、研修合格証の発行部数を初級・中級各30部とされていますが、こちらは修了者数の成果指標（KPI）も30名ということか。	仕様書に記載の「初級・中級各30部」については、想定される発行数を示したものであり、修了者数の成果指標（KPI）として一律に定めるものではありません。
12	企画提案仕様書 3ページ	初級・中級の重複受講について、本研修において、初級および中級の両方を同一の受講者が重複して受講することは可能か。	同一受講者が初級および中級の双方を受講することは可能です。なお、本年度の研修については、初級研修を先行して実施し、その後、初級合格者のうち、希望する者および一定の能力を有すると認められる者が中級研修を受講する段階的な実施を想定しています。
13	企画提案仕様書 3ページ	研修の合同開催について、座学研修2回以上のうち、1回を初級・中級の合同（共同）開催とすることは可能か。	本年度の研修については、初級研修を先行して実施し、その後、希望者のうち一定の能力を有すると認められる者が中級研修を受講する段階的な実施を想定しています。このため、座学研修についても、原則として各段階ごとに実施することを想定しています。
14	企画提案仕様書 3ページ	研修カリキュラムの段階（初級・中級・上級）について、この段階は「英語力」と「ガイド力（コミュニケーション能力など）」の2軸で構成されると考える。ただし、仕様書1ページに「基礎的な語学力を有する者を対象」と明記されていることから、段階の評価基準に英語力を含めなくてよいと判断してよいか？	本研修は、基礎的な語学力を有する者を対象に、ガイドとして必要な実践的コミュニケーション能力および案内技術の習得を目的として実施するものです。一方で、各段階における到達基準の設定にあたっては、ガイド力のみならず、ガイディングを行う上で必要となる英語での表現力やコミュニケーション能力を含めて整理することを想定しています。
15	その他	本研修の受講料は無料実施か。過去の実施経験では、無料の場合に無断欠席等が増え、受講機会の公平性に課題が生じたため確認したい。	本研修については、受講料を徴収しない形での実施を想定しています。